

## ■ コーポレート・ガバナンス

### 日本化薬グループのガバナンス体制および内部統制体制

#### コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

日本化薬グループは、社会から信頼される企業であるために、株主・投資家の皆さまへのタイムリーかつ公正な情報開示、チェック機能強化による経営の透明性の確保が重要な課題であると認識し、自律的なガバナンスを整備しています。

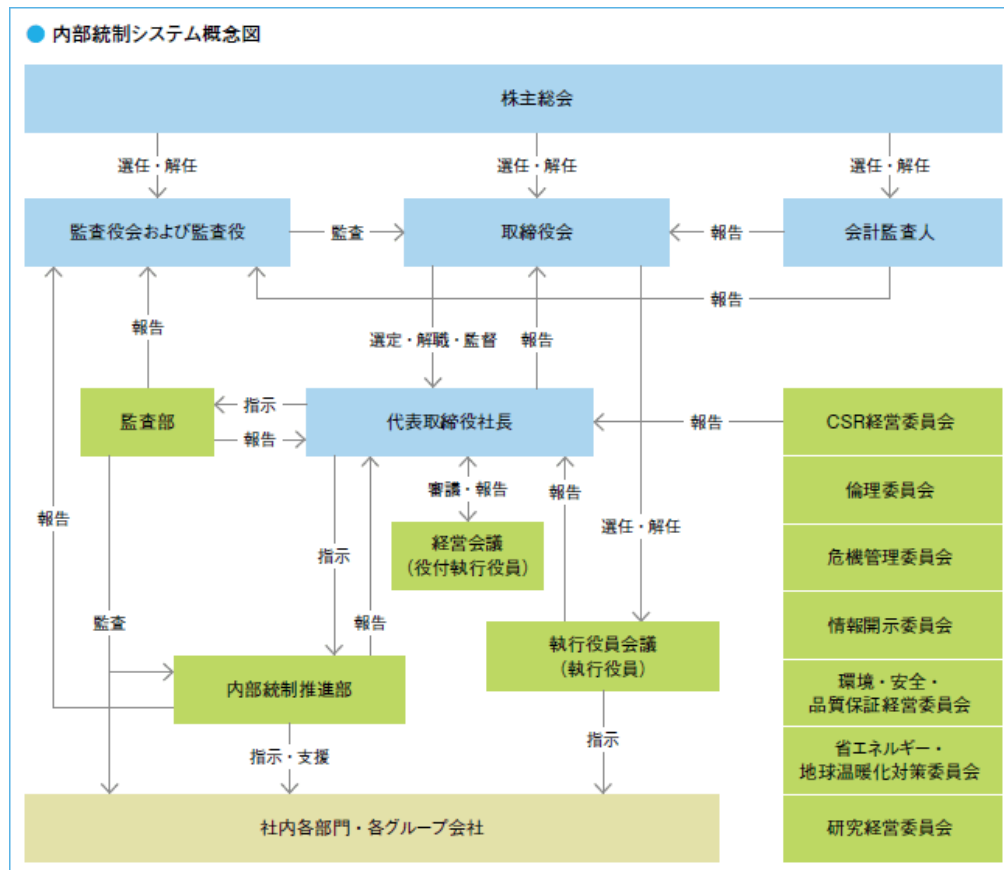
#### コーポレート・ガバナンス体制

日本化薬グループは、取締役会の合議制による意思決定と監査役制度によるコーポレート・ガバナンスが経営機能を有効に発揮できるシステムであると判断しています。

2005年8月から、事業環境の変化に迅速に対応し、柔軟な業務執行を行うために「執行役員制度」を導入し、経営の「意思決定・監督機能」と「業務執行機能」の役割を明確に分離し、それぞれの機能を強化して適切な意思決定と迅速な業務執行を行っています。また、経営責任および執行責任の明確化のため、取締役と執行役員の任期を1年としています。さらに、2013年6月から社外取締役を導入しました。これにより、経営の透明性を高めるとともに、コーポレート・ガバナンス体制のさらなる強化を図っています。

当社は監査役会設置会社で、社外監査役3名を含む5名の体制です。監査役が取締役会等の各種社内重要会議に出席する他、内部監査部門との情報交換等を通じ、独立した立場から取締役の職務執行の監視、監督を行っています。

#### ▶ 内部統制システム概要



### 内部監査および監査役監査の状況

内部監査について、不正・錯誤の未然防止、業務改善、資産の保全などに資するために、社長直轄の組織として監査役会とは別に社内組織の監査部を設置し、年度計画に基づきグループ会社を含む業務監査を実施しています。

監査役監査について、各監査役は監査役会が定めた監査方針、監査計画および監査業務分担に基づき、取締役会などの重要会議への出席、業務執行状況の監査などを通じ、独立した立場から取締役の職務執行の監視、監督を

行っています。

## リスク管理体制

日本化薬グループは、リスクの発生を回避するとともに、発生した際の損失を最小限に抑えるための総合的なリスクマネジメントを行っています。

2000年に「危機管理マニュアル」を、2004年に「危機管理委員会規程」を制定し、危機管理体制を整えました。

発生リスク情報を速やかにトップへ連絡する体制を整備すると共に、危機管理を要するリスクごとに主管部門を定め、個別リスクの予防・回避を図り、是正措置を講じます。

個別リスクとして、地震を中心とした自然災害リスク・公害、環境汚染、事故（生産・物流）関係リスク・製品関係リスク・信用失墜リスク・会社に対する犯罪リスク・役員、従業員及びその家族に対する犯罪リスク・海外駐在員、海外出張者関係リスク・訴訟提起リスク・人事、労務関係リスク・特許訴訟リスク・感染症リスク等を取り上げています。

## リスクマネジメント推進活動

日本化薬グループは、リスクマネジメント担当部門が策定し、危機管理委員会が承認した年度ごとの「リスクマネジメント行動計画」を確実に実施し、リスク意識の向上及び発生リスク情報を速やかにトップへ連絡する体制の整備とリスクの低減活動を図っています。

## 日本化薬グループのBCPへの取り組み

2011年3月11日発生 of 東日本大震災と津波の影響による教訓を活かし、2012年度には本社においてBCP訓練を実施しました。ここでは事業継続計画（BCP）への取り組みをご紹介します。

▶ [2012年度防災訓練の調査 PDF](#)

### BCP訓練

日本化薬では2011年度内部統制推進部を中心として全事業部が参画して組織横断的なBCPプロジェクトを立上げ、BCPマニュアルを策定しました。このBCPマニュアルは「目標期間内に事業を復旧する」考えのもと、事業本部ごとに対策本部を立上げる体制と、重要業務の策定を行い、復旧のための資源を集中配分する体制をとることにしました。また、各事業場に衛星電話の設置、情報システムの設計の実施、およびBCPの観点を加えた「戦略在庫」を別途設定し、管理する体制としました。その一方で、制定したBCPを速やかに稼働させるためには、従業員一人ひとりの教育訓練が重要であると認識しました。

そこで、2012年度は本社と機能化学品事業本部において外部コンサルタントの指導のもとでBCP訓練を行いました。訓練は東京湾内で震度6の地震が発災し、東京工場が被災したときの事業復旧を中心としたブラインドシミュレーション形式とし、社長をはじめすべての役員が参加して行いました。訓練の結果は、「中央災害対策本部」から「機能化学品事業本部（機本）災害対策本部」に復旧計画作成の指示を行い、無事復旧計画案が報告されて予定通り終了しました。また、同時に本社も被災したため、本社機能の復旧を目的とした「本社機能災害対策本部」を立上げました。こちらに関しても無事終了しました。

BCP訓練はBCPマニュアルを「絵に描いた餅」にしないためにも今後必ずすべての事業部で実施していきます。



# 内部統制システム概要

## 各会議の概要

### 取締役会（月1回開催）

経営の意思決定を迅速に行うために、取締役の定員を10名以内とし、業務執行に関する重要事項について、法令・定款の定めにもとった取締役会規程に基づいて決定を行うとともに、監督機能の一層の強化に努めています。

### 経営会議（週1回開催）

経営および業務執行に関する重要な事項について審議し、または報告を受け、審議事項については、経営会議構成員が審議を尽くした上で議長である社長が決定しています。

### 執行役員会議（四半期に1回開催）

取締役会で選任された会社の業務執行を担当する執行役員（25名以内）で構成し、社長が議長を務め、取締役会および社長から委任された業務の執行状況その他必要な事項について報告しています。

### 経営戦略会議（年2回開催）

取締役会で決議された当社グループの基本方針、経営戦略など経営全般に関する重要事項を経営幹部に情報伝達し、周知徹底を図っています。

### 監査役会（月1回開催）

監査役5名（うち3名は社外監査役）で構成され、監査役会規程に基づき、独立した立場から取締役の職務執行の監視、監督を行っています。

上記以外にも、職務権限規程を定め、会社の業務組織、業務分掌、管理監督職位の権限と責任を明確にし、業務の組織的・能率的運営を図り、責任体制を確立しています。

## 各種委員会の概要

### CSR経営委員会

KAYAKU spiritおよび当社CSR理念に基づく事業活動を行い、企業の社会的責任を継続的に果たすために、CSR活動方針および中期アクションプランの決定と対応策の妥当性の確認を行っています。

### 倫理委員会

行動憲章・行動基準とその遵守に関しての方針、具体策を策定するとともに、全社の遵守状況を評価し必要な改善を図っています。

### 危機管理委員会

経営全般にわたるリスクの未然防止、ダメージコントロールおよびダメージ修復のための危機管理体制を構築し管理しています。

### 情報開示委員会

社外に対して開示すべき経営上の重要な情報を精査し、適時適切に開示するための体制を整備しています。

### 環境・安全・品質保証経営委員会

環境保全、安全衛生、品質保証についての方針を出すとともに、結果を評価し、改善を図っています。

### 省エネルギー・地球温暖化対策委員会

省エネルギー・地球温暖化対策に関する方針に基づいて中長期計画の策定、活動状況の確認、問題点の把握とその対応策について審議し結果を社内外へ公表しています。

### 研究経営委員会

全社の研究開発方針および戦略を定め、研究開発に関する重要事項を審議・決定し、または報告を受けています。

# 2012年度 防災訓練の調査

※1【総合防災訓練】所管の消防署と連携、通報・避難・消火等の訓練

※2【衛星電話訓練】BCP対応のため、2012年6月より毎月1回衛星電話のかけ方の訓練

各事業場/会社名	総合防災訓練	通報訓練	火災・初期消火器・放水訓練	地震想定訓練	避難訓練	漏洩訓練	負傷者搬送及び救護訓練	AED訓練	土嚢訓練、煙ハウス体験	講習会及び勉強会	衛星電話訓練	特記事項
日本化薬(株)：本社		●		●		—	●	●	—	●	●	地震想定でBCP訓練を実施
福山工場/日本化薬福山	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	公設消防隊との合同訓練、福山港海上防災訓練、危険物安全協会活動(防災活動・講演会・出初式)、特別防災区域協議会活動(部会活動・講演会・防災訓練視察研修、講演会・研修会・JFEスチールとの通報訓練)
厚狭工場	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	水害防災訓練
東京工場/日本化薬東京	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	安否確認訓練を実施。
高崎工場	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	防災機材見直しと非常食・燃料の常備
姫路工場	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	非常用品見直しと防災備品の常備
鹿島工場		●	●	●	●	●	●			●	●	津波避難訓練
東京事業所/東京事業区	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	—	東危合同消防演習：漏洩訓練と土嚢訓練実施 東京事業区における大規模地震対策の勉強会実施
(株)ボラテクノ	●	●		●		●					—	漏洩訓練は現場単位で実施
モクステック					●	—		●		●	—	
無錫宝来光学科技	●	●	●		●	—				●	—	各部署によるリスクアセスメント評価 夜間緊急状況処理連絡訓練
デジマテック	●					—			—	●	—	
ニッカファインテクノ			●	●		—			—	●	—	
ニッポンカヤクアメリカ					●	—			—		—	ビル管理会社により1回/年避難訓練実施
ユーロニッポンカヤク		●							—		—	緊急連絡網の作成
化薬化工(無錫)		●	●		●		●			●	—	緊急時重要書類持ち出し訓練、通勤時電動バイクヘルメット着用・車安全ベルト着用必須、インフルエンザ予防励行、各自宅避難通路・避難場所家族確認指示
マイクロケム			●		●	—		●	—	●	—	
無錫先進化薬化工	●		●		●	●	●			●	—	
招遠先進化工			●							●	—	
上海化耀国際貿易						—			—		—	懐中電灯設置 PM2.5対策マスク常備(外来客へ無償配布)
日本化薬フードテクノ	●	●	●	●	●		●	●			—	高崎工場と合同実施：総合防災訓練、地震想定訓練、火災訓練、救護訓練、AED訓練
TDサポート					●	—			—		—	テナントビル全体の防災訓練の予定があります
日本化薬メディカルケア	●	●	●	●	●	—	●		—	●	—	消防訓練(介護保険制度で義務)
ナック	●	●	●	●	●	—	●		●	●	—	東京事業所と合同訓練実施
台湾日化股分					●	—			—		—	
インゲットシステムズ		●	●		●	—	●	●	—	●	—	
化薬(湖州)安全器材			●		●	—			—		—	
カク・セイシステムズ・テ・サコ			●		●	—	●		—	●	—	
西港自動車学校	●	●	●			—			—		—	
和光都市開発		●		●		—	●	●	—	●	—	NK本社と合同訓練
ニコス		●		●		—	●	●	—		—	NK本社と合同訓練
日本人材開発医学研究所					●	—			—		—	ビル管理会社実施の避難訓練に参加
沖浦ゴルフセンター		●		●		—			—	●	—	東南海・南海地震防災計画書(福山市東消防署届出書)によるマニュアル書を利用。
厚和産業	●	●	●	●		—	●	●	●	●	—	水害防災訓練 NK厚狭工場と合同訓練
群南産業	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	—	高崎工場と合同実施
化薬アクゾ(株)本社	●	●	●	●		—			—		—	
化薬アクゾ(株)厚狭工場	●	●	●	●		●	●		—		—	NK厚狭工場と合同訓練
カヤク・ジャパン(株)本社	●	●	●			—			●	●	—	
カヤク・ジャパン(株)厚狭工場	●	●	●	●		●	●	●	●	●	—	KJ厚狭工場は、NK厚狭工場と合同訓練
三光化学工業		●	●	●		—			—		—	三光化学本社・工場と合同訓練